

軍事極秘

自昭和十九年六月十九日
至昭和十九年六月三十日

陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第五中隊



陣中日誌、例式

第一陣中日誌、左、詩部、團隊、於、所、行、作、事、ノ、上、ト、入、

大本營、各部、郵便部、除、(高業司令部、編成上各部、

區分、上、ト、其、各部、毎、日、郵便部、除、) 兵站監部、各部、

兵站司令部、聯隊、大隊、獨立隊、砲隊、偵察隊、隊、隊、隊、隊、

立、用、曼、曼、上、時、曼、曼、曼、曼、曼、曼、曼、曼、曼、曼、曼、曼、

豫備員、豫備隊、總、總、總、總、總、總、總、總、總、總、總、總、

留予司令部、及、神、神、神、神、神、神、神、神、神、神、神、神、

第二、陣中日誌、及、留予日誌、(論、隊、隊、隊、隊、隊、隊、隊、隊、

特別部隊、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、

第三、之、作、作、作、作、作、作、作、作、作、作、作、作、

戴、戴、戴、戴、戴、戴、戴、戴、戴、戴、戴、戴、戴、戴、

甲、各ノ若クハ諸部團隊、經過上者ノ遭遇ニ付テハ實況ヲ記載
シ、戰史、用ニ資シ、各人、勤務ニ他日、銓衡スル、參
考ニ共ス

乙、編制教育補充ニ給養衛生武器彈藥器具材料被服
裝具等凡テ軍事關心ノ事物、經驗ニ録シ、將來改良材料ト爲ス

第四

甲、目的ヲ達セシムル、諸洋、海軍、陸軍、航空、各軍、其要領、

一、各軍、其要領、
二、各軍、其要領、
三、各軍、其要領、

四、戰闘、其況、
五、戰闘、其況、

以上、事、記、シ、テ、時、刻、詳、記、ス、ル、ト、シ、テ、可、ク、又、上、述、
事、件、自、己、部、隊、之、戰、況、事、項、(天候、地形、險、阻、道、路、
良、悪、人、多、少、等、類)、ハ、簡、單、ニ、附、記、セ、ル、可、ク、

六、所屬セシ軍隊、區分

七、人員、異動

八、戰中、諸、事、項

九、戰後、諸、事、項

十、此、外、其、他、諸、事、項

十一、戰中、諸、事、項

十二、戰後、諸、事、項

第六

十三、戰中、諸、事、項

十四、戰後、諸、事、項

報及二送呈也此類詳報其地死傷表式等類
等日一至七報等事凡其要領摘記事後後二倍書
備ノノ此類各本種類毎二柱ニ保存スル
秘密ニ屬スル特別任務等ニ付當時之日誌ニ掲載スル能ハサル
証書等ノ類ニ至リテハ其ノ詳細ニ其類末ヲ記載スルモノトス
第一 此類日誌ノ月日時順年ヲ逐々ト地名トヲ明記セザル可ラス
而シテ諸部團隊長(或ハ隊長)之類檢査者皆記載、結尾ニ
捺印或ハ筆押スル
第二 此類日誌諸部團隊履歷完結日ヲ以テ終司ト爲シ直ニ一
本ヲ繕寫シ順序ヲ經テ陸軍省ニ原本ハ其部隊ニ格納スル
陸軍省ハ此日誌中ヨリ所要ノ事項ヲ抄録シテ之ヲ保存シ他ノ皆
テ謀本部ニ送リ一日陸軍文庫ニ格納スル
第九 此例式ハ必又陣中日誌ノ卷首ニ貼付ス

第一軍隊 第一師團 第一旅團 第一營

一般中隊編氏表

(昭一九一六八一)

中隊長	陸軍中尉	西村又次郎
班指揮		
班長	曹晉級	保田宗作
班長	曹晉級	小堀五上
班長	曹晉級	倉田高友
班長	曹晉級	高友刺
班長	曹晉級	市村茂
班長	曹晉級	山本信吉
班長	曹晉級	山本信吉
班長	曹晉級	山本信吉
班長	曹晉級	山本信吉

第一小隊長 陸中 干場久男
 第二小隊長 陸少 義井靜夫
 第三小隊長 陸少 澤田壽之

連路下軍 神野俊一
 連路下軍 神野克司
 連路下軍 澤田壽之

第一分隊長	陸軍中尉	北原清夫
第二分隊長	陸軍中尉	佐々木高淳
第三分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第四分隊長	陸軍中尉	久保田...
第五分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第六分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第七分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第八分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第九分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第十分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀

第一分隊長	陸軍中尉	佐々木高淳
第二分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第三分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第四分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第五分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第六分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第七分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第八分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第九分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第十分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀

第一分隊長	陸軍中尉	佐々木高淳
第二分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第三分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第四分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第五分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第六分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第七分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第八分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第九分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第十分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀

第一分隊長	陸軍中尉	佐々木高淳
第二分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第三分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第四分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第五分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第六分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第七分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第八分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第九分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第十分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀

第一分隊長	陸軍中尉	佐々木高淳
第二分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第三分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第四分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第五分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第六分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第七分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第八分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第九分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第十分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀

第一分隊長	陸軍中尉	佐々木高淳
第二分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第三分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第四分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第五分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第六分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第七分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第八分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第九分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀
第十分隊長	陸軍中尉	藤岡覺秀

東京小隊

總員一三二名

(三九)

(三九)

(三九)

第1班	第2班	第3班	第4班	第5班	第6班	第7班	第8班	第9班	第10班	第11班	第12班	第13班	第14班	第15班	第16班	第17班	第18班	第19班	第20班	第21班	第22班	第23班	第24班	第25班	第26班	第27班	第28班	第29班	第30班	第31班	第32班	第33班	第34班	第35班	第36班	第37班	第38班	第39班	第40班	第41班	第42班	第43班	第44班	第45班	第46班	第47班	第48班	第49班	第50班	第51班	第52班	第53班	第54班	第55班	第56班	第57班	第58班	第59班	第60班	第61班	第62班	第63班	第64班	第65班	第66班	第67班	第68班	第69班	第70班	第71班	第72班	第73班	第74班	第75班	第76班	第77班	第78班	第79班	第80班	第81班	第82班	第83班	第84班	第85班	第86班	第87班	第88班	第89班	第90班	第91班	第92班	第93班	第94班	第95班	第96班	第97班	第98班	第99班	第100班
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

一級中隊編成表 (第15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、94、95、96、97、98、99、100)

陸軍

六月十九日

晴

編成

兵器

一 昭和十九年六月十六日陸軍省發給密第39號ニ依リ
臨時編成中令 陸軍省令第一〇九號ニ依リ
二 六月十九日金師參謀第一六五五號ニ依リ別紙
通第一五中隊ヲ編成スルニ付、一、陸軍省令第一〇九號
編成ニ係ル兵器資材受領定數左ノ如シ

品名	数量	品名	数量
九五式軍刀	二	九五式小銃	八
三十一年式銃劍	一、二六	八九式重機槍	一、二
九九式短小銃	九六	九九式雙眼鏡	一、二
八九式重機槍筒	九	九九式携行銃工具	二
九九式輕機用銃	九		

管地
人負

東部第四十九師團
中隊長 以下 兵員 姓名

六月二十日
行 事

一、四〇〇東部第四十九部隊長、軍容検査實施
施せラル 軍容検査終了後左記要旨、訓示す

左 記

一、隊長ヲ中心トスル整軍團ナル團結
ス時奇ノ認識

二、師団部隊ハ中隊長指揮トシテ、
發金澤停車場ニ向テ前進ス

輸送ニ関スル命令要旨左ノ如シ

命令

一、部隊ハ軍用列車依リ一六三八東京驛ニ向テ
列車輸送セントス

二、中隊ハ別ニ示セル乗車區分ニ依リ乗車スベシ
乗下車ハ喇以テ注意ヲ示ス

東京・皇谷部

陸 軍

宿營地
輸送
人員

六月二十一日
行 事

三、乗車終了セバ輸送指揮官ニ報告ス
四、輸送間ニ於テハ給與ハ左ノ如ク實施ス
二十日夕食者ハ携行食ヲ午前食後ハ
輸送指揮官 西村中尉

軍用列車
中隊長以下一三二名

一、五〇〇東京驛着市巾行軍途中高城参拜
一、六二〇東部第六部隊ニ到着少憩後東部第六

部隊長代理勳員主任ニ申告

二、五〇〇宿營地ヲ以テ東京都麻布十番町善福寺到着

命令

宿營命令要旨左ノ如シ

一 大隊ハ本夜善福寺ニ宿營セントス
 二 各隊ハ現地ニ於テ指示セル處ニ基キ夫ニ宿營スベシ
 三 本夕食ヨリノ給與ハ東部第六部隊ノ給與ニ依ル
 四 本日衛兵ハ第五中隊ヨリ差出スベシ
 五 舍營取掃將校ハ第五中隊ノ干場中尉トス
 六 大隊ノ善福寺宿營間日課時限ヲ左ノ如ク定ム
 起床日朝点呼 〇五〇〇 會 報 一六〇〇
 朝食 食 〇六〇〇 夕 食 一七三〇
 衛兵交代 〇九〇〇 日夕點呼 〇五〇〇
 診 断 〇九二〇 消 燈 二一三〇
 晝 食 一二〇〇
 朝食 廣松 晝食 沼津 夕食 東部第六部隊
 宿營地 東京都善福寺
 勤務 一日直下士官 陸軍軍曹 佐々木 寛

東京小隊部

陸軍

二 舍營衛兵ヲ如ク見ル
 司令 陸軍部長 梅澤外次
 參謀長 陸軍上等兵 坂田誠
 一 陸軍軍曹 高橋善知
 二 陸軍軍曹 高橋善知
 三 陸軍軍曹 高橋善知
 四 陸軍軍曹 高橋善知
 五 陸軍軍曹 高橋善知
 六 陸軍軍曹 高橋善知
 七 陸軍軍曹 高橋善知
 八 陸軍軍曹 高橋善知
 九 陸軍軍曹 高橋善知
 十 陸軍軍曹 高橋善知
 十一 陸軍軍曹 高橋善知
 十二 陸軍軍曹 高橋善知
 十三 陸軍軍曹 高橋善知
 十四 陸軍軍曹 高橋善知
 十五 陸軍軍曹 高橋善知
 十六 陸軍軍曹 高橋善知
 十七 陸軍軍曹 高橋善知
 十八 陸軍軍曹 高橋善知
 十九 陸軍軍曹 高橋善知
 二十 陸軍軍曹 高橋善知

六月二十三日

行事 兵器被服ノ手入並被服ノ註記ヲ實施ス
衛生 全員一六〇〇ヨリ東部第六部隊ニ於テ種痘並ニ
「チブス」豫防接種第一回實施ス。

宿营地 東京都善福寺
勤務 一日直士官 陸軍少尉 義井静夫
 日直下士官 陸軍伍長 中川善雄

命令 大隊命令要旨左ノ如シ
一 大隊ハ今夜引續キ善福寺ニ於テ宿營ス
二 各隊ハ昨夜指示セル通り宿營ス
三 本日、取締將校ハ第六中隊 原田大尉ヲ
四 明二十三、日取締將校ハ第四中隊長 大野中尉トス
五 大隊將校ハ東京師團、行方將校集合夜營ヲ兼
命スベシ

六 將校ハ在、輸送ニ依リ六月二十四日、八日、ロ、ス、テ、ニ
陸軍 東京小津附

人員 習志野東廠舎ニ到、別、林、武、學、校、行、ノ、發、行、日、受
クバシ
七 大隊將校全員二十四日、結、濃、驛、津、面
召集ヲ經テ習志野東廠舎ニ集合スルベシ
中隊長以下一三二名
日直下士官 陸軍少尉 田中善雄
日直下士官 陸軍少尉 田中善雄

行事 一 自、日、間、軍、容、檢、査、準、備
二 軍、容、檢、査、受、檢、シ、テ、一、四、三、〇、善、福、寺、ヲ、出、發、シ

東部第六部隊 召集
一六〇〇編成担任官トシテ東部第六部隊長、軍
容檢査會實施後、第二大隊、編成見、陸軍少尉、隊長
指揮下ニ入ル
陸軍大尉 田中善雄
陸軍少尉 田中善雄
陸軍少尉 田中善雄

衛	生	日朝英評後約一時期左、通り衛生講話實施ス	大隊本部 衛生曹長
宿营地	東京部善福寺	大隊本部 衛生曹長	
勤務	日直士官	陸軍少尉 澤田壽之	
	日直下士官	陸軍任長 勝田淳	
	廠營先發者	陸軍少尉 義井靜夫	
		陸軍任長 勝田淳	
		陸軍一等兵 北勝太郎	
		陸軍一等兵 北勝太郎	

命令

大隊命令要旨

一 大隊八時二十四日善福寺に撤し聯隊集結スルノ電
 車輸送ニ依リ習志野東廠舎ニ向テ前進セムトス
 二 部隊ハ森岡中尉ノ指揮ニ依リ二十四日二三四
 現在地出發信濃驛一三五ノ電車ニ依リ出
 發スル
 三 義井少尉下士官六兵ニハ同日一〇〇〇迄ニ習志野
 東廠舎ニ到リ當該廠舎部隊ト連絡シ設置ニ
 任スル
 四 本部各隊ハ左記ノ如ク人員ヲ差出シ富田中尉
 尉ノ指示ヲ受クベシ

左記

- 大隊本部 下士官二 兵二
- 各中隊 下士官一 兵五

陸軍

陸軍小隊

人員

中隊長以下一三二名

六月二十四日

行軍

自〇七三〇間習志野東廠舎ニ到ル撤收準備
至一一〇〇間習志野東廠舎ニ到ル撤收準備
中隊長以下四名東京師團ノ行ヲ將校集會教育
参加夕メ出發

行軍

一二〇〇指管地善福寺ニ撤シ保田曹長ハ中隊ヲ
指揮シ輸送指揮官森田中尉ヲ指揮下ニ入り退
發一四一七信濃町驛發ニテ津田沼ニ向ヒ一五三三
津田沼驛着行軍ニ依リ一八一〇習志野東廠舎ニ
到着先發者ノ指示ニ依リ指管ス

宿營地

習志野東廠舎

勤務

自六月二十四日
至七月一日間左ノ通り日直勤務ニ服務スベシ
日次 日直士官 日直下士官 日直上等兵

東京小津町

陸軍

命令

聯隊命令要旨

一廠營區分

第一大隊 第二大隊 TA中隊 中隊 東廠舎

六廠營間日課時限左ノ通り定ム

二十四日	干場中尉	安井伍長	水島 藏
二十五日	義井少尉	辰中伍長	福川濱二
二十六日	澤田少尉	前田伍長	竹林政雄
二十七日	干場中尉	梅澤伍長	谷 幸助
二十八日	今本少尉	吉端伍長	中齊政彦
二十九日	神谷少尉	北野軍曹	杉本又吉
三十日	義井少尉	伴 伍長	京田幸次
三十一日	今本少尉	中田軍曹	坂 米造

日直勤務ノ交代ハ二二〇〇下メ但シ二十四日上番者
ハ習志野廠舎ニ到着後服務スルモノトス

起床日	朝	診	晝	會	報
〇五〇〇	〇六〇〇	〇九〇〇	一二〇〇	夕	一五〇〇
				日夕	一八〇〇
				点呼	二一〇〇
				燈	二一〇〇

三日直勤務、交代ハ二〇〇トス
 四、内務衛兵ヨリ左、如ク服務スヘシ

六月二十五日 第二大隊
 司令一 歩哨掛二 歩哨六 刺刀掛一

大隊命令要旨

一、職隊命令ニ基キ第二大隊衛兵ヨリ左、通り差
 出し服務スヘシ

六月二十五日 第五中隊
 六月二十八日 第六中隊
 七月一日 第四中隊

陸軍

人員 中隊以下一三二名

六月二十五日 晴

教 育

一、中隊長各小隊長ハ將校集合教育ニ出場
 二、各分隊ハ分隊長指揮ニ依リ廠舎裏演習場ニ於
 テ約三時間戰鬥匍匐前進及疎開要領ヲ實
 施ス

一、三〇ヨリ午前ト同課目ヲ實施スリ
 三、二〇〇〇大隊下士官以上演習場ニ於テ大隊長統率
 ニ依リ夜間接敵隊取及陣地奪取要領ヲ教
 育シ受ク

宿营地 習志野東廠舎

勤 務

田道士官 陸軍少尉 義井 靜夫
 田道下士官 陸軍少尉 堀 仲 龍 保

命令

日直上等兵 陸軍兵長 稻川 廣 仁

聯隊命令要旨左、如シ

一、明二十六日部隊長全員ニ對シ訓示ス依テ是日

部隊本部前ニ集合スヘシ

服裝單履、單裝 略綬佩用

二、明二十六日一〇〇〇ヨリ左、如ク兵器機能検査日當

施ス

一、實施品目 重大器全部(履兵 輕機用鏡 射器等) (會)

二、實施場所 各中隊會前

三、立會者 兵器科將校 同下士官

四、實施順序 建制順 左

三、内務衛兵、服裝ヲ左如ク改ム

背囊 雜囊 水筒 除キ被甲 鐵帽ヲ携行

トス

陸軍

人員

中隊長以下一三二名

六月二十六日

行事

一、〇七三〇ヨリ部隊長訓示ス
於習志野部隊本部前

二、聯隊編成見詰ニ聯隊長指揮下ニ大

隊本部ヨリ受領セシ部隊裝備ニ係ル兵

器左、如シ

品目	員數	品目	員數
月	八〇	片假名檢知器	一
十字	一〇	九五式消函	一
輕機用鏡	五	(重射器) 塔	一
射器	五	(空機)	一

兵器資料

携帶警報器 一 荷造用麻縄 一

二 百三〇ヨリ兵器検査受檢又

異狀ナシ

教育

一 三三〇ヨリ中隊長以下麻舎裏演習場

於テ匍匐前進要領ヲ實施ス

宿營地

勤務

習志野東麻舎 澤田壽之

日直士官 陸軍少尉 前日義根

日直下士官 陸軍伍長 竹村政雄

日直上等兵 陸軍上等兵 竹村政雄

命令

聯隊命令要旨

一 左ノ如ク豫方接獲ヲ實施ス

赤痢第一回 二十七日 三種混合薬二回 二十八日

赤痢第二回 三十日

實施要領

第二大隊及通信中隊ハ第二大隊軍醫

開始時刻ハ〇ハ〇トシ場所ハ各大隊ニ於テ區署

スヘシ

二 東麻舎并戸外ハ不良ニシテ飲用ニ不適ナリ

現在下痢患者多發セルニ付是カ飲用ニ嚴

禁ス飲用水ハ必ス炊事ヨリ湯茶ヲ飲用スバ

シ之カ多ク食事時間以外至一二〇〇間炊事ニ

於テ準備ヲ依テ水筒其他ハ各隊ニ依リ準備

シ使用スヘシ

中隊長以下一三二名

人員

六月廿七日 晴

教育

一 左ノ如ク全員ニ對シ教育ス

ノ教育者

干場中尉

人員	勤務	宿营地	衛生	課目	時間	教育者	課目	時間	教育者
中隊長以下一三二名	日直上等兵 陸軍上等兵 谷 幸助	日直士官 陸軍中尉 干場久男 日直下士官 陸軍伍長 蔭澤健次 日直上等兵 陸軍上等兵 谷 幸助	習志野東廠舎	對戰車肉薄攻撃及對戰車資材 其使用法ニ就テ	〇八〇ヨリ約一時間	澤田少尉	海没防止上其資材ニ就テ	〇九〇ヨリ約一時間	澤田少尉
				防接種實施ス					
				〇七三〇全員大隊本部前ニ於テ赤痢第4回講					
				ヲレニヨリ中隊長 團詰ニ就テ精神訓話ス					

陸軍

六月五日
晴
教育

人員
勤務

命令

自〇八〇〇間東部第九部隊協同演習
澤大尉指導ニ依リ中隊ハ本實施中隊ニシテ
中隊長以下一七名出場對戰車肉薄攻撃
可實施ス
中隊編成換ヘシメ左記人員編入替々實施ス
編入人員將校二下士官九 兵一三 計二三名
轉出人員將校二下士官九 兵一三 計二三名
編入替後中隊編成別紙如シ
聯隊命令要旨後奉
一任第五中隊小隊長要員陸軍少尉 神谷秀雄
令本喜作
陸軍少尉 野崎 次男

6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
熊谷	角田	山下	白井	水原	高塚	茅平	西野	小野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	中野	
重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	

陸軍

宿營地
勤務

頭書、通り小隊長ヲ免命ス
習志野東廠舎
日直士官 陸軍少尉 今本善保
日直下士官 陸軍伍長 吉端秀一
日直上等兵 陸軍兵長 中齋政登
中隊長以下一三二名

行專
六月十九日

教務

六七三〇ヨリ昨二十一日編入者三對ニ隊長長
訓示セラル
〇八二〇ヨリ大隊長訓示セラル
一教(既ニ編成中ニモ)ハ由〇八〇〇中隊長指導
ニ依リ防毒面、裝脱ヲ習志野演習場ニテ實
施ス

宿營地
勤務

命令

自一三〇〇間中隊長以下一三八名各個掩護
構築

習志野東廠舎

日直士官 陸軍少尉 神谷秀雄

日直下士官 陸軍軍曹 北野幸吉

日直上等兵 陸軍上等兵 杉本久吉

聯隊命令要旨

一 假編獨立混成第十五聯隊ヲ以テ獨立混
成第十五聯隊ニ編成セラル(六月二十四日付)

二 聯隊長要員以下各將校ハ同日附テ以テ
聯隊長以下各職ニ命課セラル

三 明三十日師團長殿下訓示傳達ヲ爲師團
長殿下代理トシテ東京師團參謀長來隊
ス依テ本部各隊ハ〇七三〇迄ニ左ノ隊形ニ集

東京小澤師

軍

人員

六月三十日
晴
行事

會要動

合スベシ

一 場所 東新廠舎北側台上前

二 隊形 中隊ハ獨立縱隊

各隊ハ小隊(重武器ハ分隊)教導下

士官ヲ〇七〇〇迄ニ同所ニ集合シ

石井少尉ノ指示ヲ受リハシ

三 服裝 單服、軍裝トス(略綬佩用)

中隊長以下一三二名

〇七三〇師團長殿下ノ訓示アリ

中隊ハ宿營地ヲ撤收移動準備ス

左記ノ者部隊輸送ノテ先發員トシテ御子

神中尉ノ指揮ニ依リ〇八〇〇廠舎ヲ出發ス

左記

陸軍兵長 福川 濱二
陸軍上等兵 坂 栄造

陸軍一等兵 滝口 秀雄
陸軍少尉 北原 信夫
日直上等兵 吉岡 直信

日直下士官 陸軍伍長 義井 静夫
日直上等兵 陸軍上等兵 伴 作次
美作命第一師要旨 京田 孝作

命令

一 聯隊ハ美作命第一師ニ基キ七月一日及二
日西日夫ノ留ニシテ津日沿驛發門司ニ向ヒ
前進セントス
二 聯隊ハ南西諸島ニ到リ防衛總司令官
ノ隷下ニ入ラントス
美作命第二師要旨

東京小澤明

陸軍

人員

一 聯隊ハ美作命第一師ニ基キ七月一日及二
日西日夫ノ留ニシテ津日沿驛發門司ニ向ヒ
前進セントス
二 第一次輸送指揮官ハ聯隊長トシ
第二次輸送指揮官ハ西村大尉トス
三 乗下車ハ刺カ一聲ニ依ル
給與担任驛ニ於ケル下車ハ給與係(使役
兵共)ノミトス
中隊長以下 一三二名

耐工免ッ体力知リノ養成ニ特ニ注意スルシ

昭和十九年七月二十三日

大隊長 井上大尉